



公益社団法人 湯沢町保健医療センター

センターだより 2月号

～ やさしさに 言葉の温度で めくもり添えて ～



〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢 2877-1
 TEL (病院) 186-025-780-6543 (歯科) 025-780-6544
 URL: <http://yuzawa.jadecom.or.jp> Mail: center@yuzawamed.jp



今月の専門外来診察日



診療科	医師	曜	診察日・その他
禁煙外来	担当医師	火・金 (各午後)	完全予約制になります。 186-025-780-6543 で予約してください
コンタクト外来	窪田医師	木	13日、27日 (完全予約制: ☎186-025-780-6543)
小児科 (アレルギー)	中島	金	7日 (午後は予約患者様のみとなります)
口腔外科	日本歯科大学	水	12日、26日 歯科・口腔外科は予約制となります。 ☎025-780-6544 にお電話ください。

今月の休診予定



休診診療科	日(時間)	曜	医師	休診診療科	日(時間)	曜	医師
地域家庭診療部	17日～28日		平井	歯科	15日・22日	土	笠原
整形外科	21日	金	川口		7日 (14:00～15:00)	金	
					18日 (10:00～11:30)	火	

郡市内の救急当番になっていない日(町の広報で当番となっていない時)でも、救急の患者様には対応しております。センターを救急で受診される時は、必ずお電話でご相談下さい。受診される際は、診察券・保険証、現在飲んでいる薬がわかるもの(お薬手帳など)をご持参ください。繁忙期につきお待たせすることもありますがお理解と、ご協力の程よろしくお願ひ致します。

お知らせ



- ★ センター地下駐車場は、センター利用者様の為の駐車場となっております。センター利用者以外の方の利用はご遠慮いただきますようお願い致します。(不正に駐車をされている車輛は警察へ通報致します。)
- ★ 原則毎月1回、土曜日にも眼科診療を行っています。
2月22日、3月29日の予定で、受付時間は8:30～10:00
- ★ 今月の浅貝出張診療は2月6日(木)、20日(木)です。前日までにお電話ください。予約が無い場合は伺いませんのでご了承ください。



“^{まい}うおぬま・米ねっと” について



診療情報を共有し、地域の限られた医療資源を有効活用して、より安全・安心な医療を受けられる仕組み『^{まい}うおぬま・米ねっと』が平成 26 年 4 月から運用されます。利用に関しては無料ですが、事前に申込みが必要です。利用申込みの受付は 2 月 3 日からセンター内でも開始します。また^{まい}米ねっと事務局、魚沼圏内の医療機関（病院 12 施設、診療所 35 施設、保険薬局 50 施設、各市町村 5 施設、そのほか 1 施設）で順次受付けています。（免許証・保険証など本人確認ができるものがが必要です。）詳しくは「^{まい}米ねっと事務局」にお問い合わせください。

【^{まい}米ネットに登録すると下記のようなメリットがあります】

- ①参加医療機関（魚沼圏内の病院や診療所、保険薬局）での検査結果やお薬の情報を共有することができるようになります。検査や投薬の重複を防止し医療費の節約につながります。
 - ②情報共有により、検査や投薬の情報が他の医療機関でも分かるので、安心して治療を受けられます。
 - ③普段、飲んでいる薬や検査の結果が分かるので、いざという時に速やかな搬送・治療に役立ちます。
- ※センターでは 2 月 3 日～2 月 28 日、9：00～15：00 総合受付付近に特設窓口を設置し、ご説明、申し込み受付をいたします。

特定非営利活動法人 魚沼地域医療連携ネットワーク協議会（^{まい}米ねっと事務局）

〒949-6680 南魚沼市六日町 180 番地 1 南魚沼市役所本庁舎南分館内 電話 025-788-0485

投書箱より

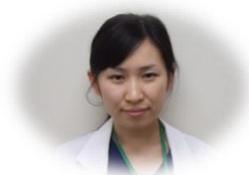


3 階に入院しています。本人が寝たきりでお話する事も不自由なのに、看護師に依頼事しても直ぐに対応してくれなく、やる気が感じられないのが残念です。 【12/10 女性】

⇒この度は、ご意見をいただきましてありがとうございます。患者様の療養環境を整え、安全で心地よく過ごしていただけるように、皆で話し合う機会を持ち、気を付けていきたいと思ひます。

【一般病棟 看護師長 笛田】

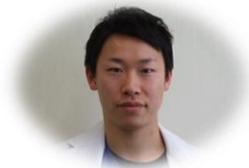
研修医師紹介



東京北社会保険病院 研修医 2 年目の牧浦亜紀子と申します。出身地は奈良県で、趣味はダンスです。2、3 月の間、湯沢町保健医療センターで研修させていただきます。一昨年の 8 月にもこちらの病院で 1 ヶ月間お世話なり、湯沢町のみなさんはとても優しく、大変楽しく過ごさせていただきました。また、夏の湯沢は涼しいと思っていたのに、とても暑かったことに驚きました（笑）

今回は冬の湯沢ということで、雪に慣れていない私には少し不安な面もあるのですが、雪も楽しみながらしっかり研修させて頂きたいと思ひます。頑張りますので宜しくお願い致します。

【2/3～3/31 東京北社会保険病院 ^{まきうら}牧浦 ^{あきこ}亜紀子医師】



こんにちは。市立奈良病院から 1 ヶ月研修にきました、初期研修医 2 年目の安田です。昨年も同じ時期にお世話になりました。まだまだ至らない所がたくさんあると思ひますが、少しでも昨年より成長している姿を見せることができればよいかなと思ひます。今からとても楽しみです、よろしくお祈りします。

【2/3～3/1 奈良市立病院 ^{やすだ}安田 ^{ゆいと}唯人医師】

研修終了ご挨拶



湯沢町に研修に来て1か月、あっという間でした。2年前の4月、学生の時に湯沢で実習させていただいた際も雪が降っていましたが、1月は冬本番ということでやはり雪が降っていました。東京から来た私にとっては、1月の湯沢の雪は「こんなに降るの?」といった印象でしたが、待合室研修で町民の方々にお話を聞くと、「今年は少なくて助かる。」とおっしゃっていたのが印象的でした。学生の際は1週間だけで、季節も一応春だったので雪国の生活を実感することはあまりありませんでしたが、今回は1か月研修であったため雪に長靴を履く生活にも慣れました。実際に生活してみると、研修が終わった夕方から夜には外は暗く冷え込んで、時に大雪も降るため外を歩くのも大変・・・というかとても億劫でした。出歩いても近くのスーパーが限度で、あとはもっぱら自分の部屋にこもって暖かくして過ごしていました。本当は湯沢町にもっと繰り出して町の様子が知りたかったですが、それは次回夏に7-8月と2か月研修させていただく際の楽しみにしておこうと思います。



しかしこんな状況下でも研修中に湯沢町の方々と接する機会もたびたびありました。初診外来や夜間救急外来を担当させていただいたり、訪問リハビリや訪問診療に同行させていただいたり、けんこつ体操と一緒に参加させていただいたり、他にも色々な研修で湯沢町の方々と接する機会がありました。人見知りな私としては、初対面の方とまともにお話ができるだろうか・・・と不安を片隅に抱えていましたが、町民の方々といざ話をはじめると会話ははずみ、その不安はどこかへ消え去りました。寒い冬ですが、とても暖かかく感じました。研修している中で、東京から湯沢町に移り住んでこられた方が意外に多く、そういった方々も湯沢町にしっかりなじんでいるように私の目には見え、そういった土壌も湯沢町の暖かさの一つにあるのかなと思いました。

最後に、短い間でしたが皆様には大変お世話になりました。充実した研修を送ることができ、とても感謝しています。次に湯沢町で研修させていただく夏までは約半年間ありますが、湯沢町で学ばせていただいたことを東京に帰ってから活かし、さらに成長した姿で夏に皆様とお会いできればと思います。ありがとうございました。

【1/4～2/1 東京北社会保険病院 ^{かの} 鹿野 ^{ともひろ} 智裕医師】

生化学自動分析装置稼働開始

～～新潟県第1号機です～～

開院以来11年間使用していた生化学自動分析装置が新しくなりました。新潟県でこの分析器が導入されたのは当院が第一号です。最新の機械で今まで以上に正確な検査結果を間違いなく、そしてより早く皆様に届けることができる分析器となります。

この分析器は、肝機能(AST、ALT、 γ -GTPなど)や脂質(T-CHO、TG、LDLなど)、腎機能、炎症反応、血糖検査など当院では25項目の検査を実施できます。分析器の最大の特徴は、今まで同時に測定できなかった糖尿病の指標となるHbA1cの検査も可能となったことです。最新機種で最大1000件の検査が依頼されても1時間で結果を報告する事ができます。分析するまでにかかる準備時間が今までより短くなり、結果を早く報告できるようになった事も新しい機械の特徴です。試薬は機械専用試薬を使用しているため精密で正確な検査結果を報告できます。



【検査室副室長 富所】

今月の話題



数えるということ

〜〜 東京の空の下から 〜



都会では子供を保育園に入れたくても定員一杯で大変みたいです。ホント都会って「暮らしにくい」ですね。かつて待機児童数が日本最悪だった横浜市（と言っても、新潟県+富山県よりも人口が多いんだし、表面的数字だけ論じては意味ありませんけど）が、市長の意気込みもあって並々ならぬ努力で、待機児童をゼロにしたと一時ニュースになりました。そうしたら保育園目当てに周辺から横浜市に引っ越す家庭が続出したりもあって、再び待機児童があふれているんですって。

新聞などで、待機児童の多い問題市区町村リストが掲げられていたりしますが、各市区町村にも言い分があるようです。足りないものは足りないでやむを得ないところもあるとして、数え方が公平ではないと、曰く、

- ・無認可の保育園に入っている子供はどう数える？
- ・保育園に入れられないから、親が仕事に就けない、という子供は？（親が仕事をしているから子供を預ける必要がある、というのが入園の条件なんですって。よく考えると話が変わりますよね。）
- ・育休中、および、保育園に入れられないために育休延長中の場合は？
- ・無理やり祖父母などを呼び寄せて、世話してもらっている子供は？
- ・諦めて他の市区町村に引っ越さざるを得なかった家庭の子供は？
- ・もしかしたら、5歳くらいの子なら、無理やりお留守番させているなんてこともありうるかも？
- ・などなど

こんな場合を数えるか数えないかは、各市区町村、基準がバラバラで、人口規模もさることながら、単純な比較はできないようです。書類上の待機児童だけが本当の待機児童ではないのです。横浜市だって、待機児童数ゼロを一時は達成したと言っても、内情はお寒いものでしたよ。私は横浜市民だから知っている。

社会問題にはとりあえず立ち入らないとして、数えるということに物申したい。一体この問題、何年やっているんですか。昨年始まった話じゃないでしょう。同じ基準で数えなさいよ。と言っても、基準を変えられる側の市区町村はイヤでしょうね。地域柄というのもあるって、統一基準が適切とも言えませんし。解決方法は簡単。全部足して一つの数字にしてしまわないで、上記のような事情別の数字を残しておいて、後は、お好きなように足すなり引くなり。話がそんなに単純でないことくらい知っていますが、少なくとも、基準がバラバラだから単純比較できないなどという不都合は改善されます。と、思うんですけどね。偉い人はそういう考え方は、なかなかしないようです。私、血気盛んだった若かりし頃、「グルグル回るめまいと、フラフラするめまいを一緒に数えるアホ医者がどこにいる！」とか、「気管支炎の診断基準が3通りあるのなら、それぞれの基準別に数えればいいでしょ！」とか、偉い医師に意見して、シカトされたり、ドヤされたり。他のデータと比較検討が可能な形にデータを取るといのがお嫌いなようです。繰り返しますが、そんなに単純な話でないことくらい心得ていますよ。でもそうすることで、少なくとも失うものは何もないでしょうに。データは分けておいて、そんな数字を見たくなかったら、あなたが勝手に合計しなさい。でも、元のデータは損なうんじゃない！今まで一つだけ、脳の病気のデータで、基準を一つに決めてしまわないで、データを加工可能な形に留めておいて、複数の基準別に数えるところなる、というのを見たことがあります。偉い人だって、やる人はやるんだね。そりゃそうですよ。私程度の者だって考えることですもん。

【台東区立台東病院 今井 康友】